

県書道連盟（赤澤 活動や書の魅力を発信
豊会長）は、高齢化 する連盟専用ホームページ
や会員数減に対応する ーシ（HP）も開設し
ため新たな事業に乗り った。
出した。若手会員の入 各書道団体、書愛好
会を促すために26歳以 家が会派、ジャンルを
上の新入会員の年会費 越えて集まった同連
（5千円）を初年度半 盟。会員展や実技講習
額にするなど規約を改 会開催など積極的な活
正したほか、今後の運 動は全国でも注目され
営に生かそうと先月、 ている。ただ他団体同
若手会員と初めての意 様に会員数が漸減傾向
見交換会を開催、多く で、高齢化率も顕著と
の書道愛好者に連盟の いう。会員818人の

県書道連盟、会員増へ始動



県書道連盟幹部に積極的に提言する若手会員＝宇都宮市内のホテル

うち60歳以上が67%を
占め、50歳以上だと82
%になる。

意見交換会は「5年、
10年先を見据えた組織
強化の一環」（赤澤会
長）として企画した。

若手と初の意見交換 魅力発信へHPも開設

賞できる場や若手を対
象にした賞の設定、講
習会開催。さらに仕事
や育児に追われ、金銭
的にも余裕のない若手
への表具代の補助、会
員宅に眠る紙などを融
通し合えないかなどの
提言が出された。

宇都宮市内の私立高
校教諭井野維子さん
（36）は「普段話せな
い幹部と有意義な時間
を過ごせた。次は多く
の仲間に参加を呼び掛
けたい」と次回開催に
期待を込めた。赤澤会
長ら幹部は「連盟に対
する若い人の熱意が感
じられた。どう応えら
れるか検討したい」と
手応えを感じていた。

4月に開設したHP
は入会手続きを簡素
化、画面上からでも申
し込めるようにした。

連盟側は会長ら幹部11
人、若手会員は49歳以
下の書家、教員、主婦、
学生ら24人が参加。活
発なグループ討議で行
われた。
代表作家の名品を鑑
掲載した。（石川忠彦）